

稲作農家 各位

山武稲作情報 第5報(2014年7月29日発行)

山武農業事務所 改良普及課

電話 0475-54-0226

FAX 0475-52-7914

山武地域の生育状況

水稻の生育は平年より1～4日早く、コシヒカリ等の晩生品種も出穂期を迎えています。品質を落とさないためにも出穂2週間後までは湛水管理、その後は間断かんがいを行いましょ。

参考 山武地域の生育状況

品種	場所	年	移植日	幼穂形成期	出穂期	成熟期
ふさ おとめ	大網 白里市	26	4/26	6/14	7/10	(8/12)
		25	4/24	6/14	7/7	8/9
		平年値	4/27	6/18	7/12	8/19
ふさ おとめ	山武市	26	5/1	6/18	7/14	(8/16)
		25	5/1	6/21	7/14	8/18
		平年値	4/30	6/22	7/15	8/20
ふさ こがね	山武市	26	5/1	6/20	7/16	(8/22)
		25	5/1	6/24	7/17	8/23
		平年値	4/30	6/25	7/18	8/26
コシ ヒカリ	東金市	26	4/19	6/22	7/19	(8/26)
		25	4/23	6/25	7/19	8/28
		平年値	4/24	6/28	7/22	9/1
コシ ヒカリ	山武市	26	5/1	6/24	7/22	(8/29)
		25	5/1	6/30	7/23	9/1
		平年値	4/30	6/30	7/24	8/30
ふさの もち	山武市	26	5/9	6/30	7/25	(8/30)
		25	5/9	7/3	7/27	9/1
		平年値	5/9	7/4	7/29	9/2

平年値は過去5年間の平均値データ。幼穂形成期は幼穂長1mm以上の稲が80%以上となった日。出穂期はほ場の40～50%が出穂した日。今年度の成熟期()は推定日。

※お知らせ：今年から山武稲作情報を山武農業事務所のホームページでも公開しています。

<http://www.pref.chiba.lg.jp/ap-sanbu/sanbu/gyoumu/gijutsujohou.html>

郵便で配信している方へお願い

稲作情報の配信を郵便から、電子メールまたはFAXに切り替えを進めています。電子メール・FAXをお使いの方は、下記までご連絡ください。

連絡先 堀 s.hr22@pref.chiba.lg.jp、0475-54-0226 (電話)

カメムシ類が多く発生しています

7月17日に山武地域の斑点米カメムシ類のすくい取り調査を実施しました。

7月9日付で斑点米カメムシ類（特にアカスジカスミカメ）の注意報が出されていますが、山武地域でも広い範囲でカスミカメ類の発生が確認されました。また山間部では、クモヘリカメムシが多い地域も見られました。

今後はコシヒカリ等の晩生品種で被害が発生しやすくなります。各ほ場の発生状況や生育状況を良く観察し、適切な防除を心がけてください。

カメムシ類防除の適期

- ① 穂揃期（8～9割の穂が出たころ）に1回目の防除を行う。
- ② 出穂15日後頃に2回目の防除を行う。

※粒剤は、出穂期頃に散布する。

薬剤は、千葉県全域版「水稻の生育状況と当面の対策」の第5報を参考にしてください。また、収穫期が近い時期での防除となりますので、薬剤の収穫前使用日数に注意してください。

山武地域でみられるカメムシ類

ホソハリカメムシ



成虫の体長は約 10mm 前後で、肩のところがトゲのように突出して褐色をしています。

クモヘリカメムシ



成虫の体長は約 16mm 前後で、細長く黄緑色をしています。



クモヘリカメムシ 幼虫

アカスジカスミカメ



成虫の体長は約 5～6mm で、淡い黄緑色。背中の太い縦条は橙赤色、触覚と脚も赤く、特に後脚の赤色が目立ちます。

イネカメムシ



成虫の体長は 12mm 前後で褐色の楕円状、背中に白い点が見られます。

シラホシカメムシ



成虫の体長は約 5～7mm 前後で、前胸背板は灰褐色で小さな黒点が散在します。中胸部の両縁に黄白色の斑紋があります。

アカヒゲホソミドリカスミカメ



成虫の体長は約 5～6mm。体は細長く淡緑色で、触覚に通常 3本の赤いストライプがあります。

カメムシ大きさ比べ（実物大）

